



相談者・相談内容：オンライン授業の工夫



東京学芸大学附属
大泉小学校
杉本 遼 先生

新型コロナウイルスの感染が広がる中、1年生を担任することになりました。今回は、Web会議システムZoomのオンライン機能を授業の手立てとして活用してみました。

オンライン授業の可能性が広がる点はよいことですが、画面の向こう側の児童の集中力を保つことや、授業に全員が参加できるような手立てを考えていく点は、難しいと感じています。オンライン授業を行う上でのアドバイスをお願いいたします。

本時の展開

学 習 活 動

- 「のびのびとがまん、どちらがすきか？」を話し合い、分散登校と自宅学習の経験を比較し、学習テーマを設定する。
- 教材を読んで、「かぼちゃは、どこまでつるをのばしていいのか？」について話し合う。
- かぼちゃに、どんなことを教えてあげたらいいかを考える。
- 気づいたことや大事だと思ったことをまとめる。

手 立 て

- 黒板の代わりに、iPadのノート機能を用いて板書し共有する。
- プレゼンテーションソフトの画面を共有し、教材を提示する。
- Googleフォームのアンケート機能を活用し、自分の考えを明らかにし、学級内の考え方の分布を見ることができるようにする。
- ブレイクアウトセッションを用いて、グループで話し合う時間を設定する。

本時で活用した機能と工夫

① iPadのノート機能

Zoomでは、iPadの画面を共有することができます。黒板のように授業中の児童の発言を板書することができますし、写真や場面絵もデータなので簡単に貼り付けることができ、印刷の必要がありません。また、文字を書いたり、消したり、移動したりすることができるので、児童の考えを構造化して表すのにも役立ちます。

② Googleフォーム（アンケート機能）

全員参加の場をつくるために、用意した6つの選択肢をGoogleフォームから選ばせ、立場を明らかにして話し合うようにしました。



③ ブレイクアウトセッション（グループワーク機能）

児童同士のコミュニケーションを大事にしたいと思い、この機能を活用しました。友達と気兼ねなく話中で、多様な意見を聞いて葛藤する児童の姿が見られました。



1年

【主題名】

のびのびとがまん

【教材名】

かぼちゃのつる (光文書院)

主題を通して考えたいこと

＜●善悪の判断、自律、自由と責任＞

- のびのびとがまんのバランスから、どこからがわがままになるかを考え、自律的な判断とその責任について考え、わがままにならないように考えて生活しようとする。



授業の内容

(T:教師 C:児童)

T:のびのびとがまん、どちらがすき？

問題意識を
高める

C:のびのび学校で遊んでいた。

C:コロナで、家でのがまんは、嫌だった。

C:でも、そのがまんは仕方がないこと。

T:この絵を見て。

C:かぼちゃが太陽に向かって、ぐんぐんのびている。

T:もし、つるをのばすことを禁止されたら、どう？

C:かわいそう。つるをのばすのは、生きるために必要なこと。あさがおと同じ。

テーマ：のびのびとがまん

T:心に残ったことは何かな？

テーマを設定し、
教材から話し合う

C:つるをどんどんのばしている。

C:まわりのみんなは、困っている。

C:つるをのばすのは、いい？ 悪い？

かぼちゃは、どこまでつるをのばしてよいのか。

T:次のうちだったら、どれだろう？

学習問題を
設定する

①のばしてはいけない。

②畑の中だけ

③蜂や蝶のところまで

④すいかの畑まで

⑤子犬や道まで

⑥どこまでもぐんぐんのばしてよい。

T:アンケート(Googleフォーム)に答えてね。

T:グループ(ブレイクアウトセッション)で話し合ってみよう。

T:かぼちゃは、どこまでつるをのばしていいのかな？

C:畑の中だけかな。だってみんなに迷惑。

C:でも、窮屈じゃない？ 少しくらいなら。

C:ほかの方法もあるんじゃない。支柱を立てるとか。

C:どこまでというより、みんなの注意を聞かなかったのが悪いんじゃない。

T:トラックにつるを切られてしまったかぼちゃは、どんな気持ちだっただろう？

C:痛い！ みんなの言うことを聞けばよかった。

C:わがままをした自分のせいだ。

T:かぼちゃは、生きるためにつるをのばしていたんだし、がまんさせたらかわいそうなんですよ。

C:つるをのばしても、迷惑を掛けてはいけない。

C:「ここまでしたら、どうなるだろう？」って、先のことを考えてのびのびしないと。

C:みんなで線を引くなどルールを考えたら？

T:のびのびとがまんについて、考えたことを書きましょう。

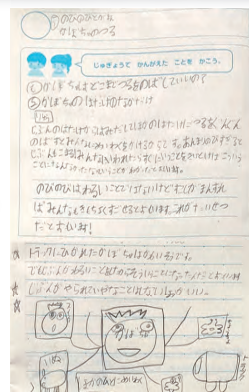
テーマについて
考えを書く

子どもの反応

【A児のノート】

のびのびは悪いことではないけれど、がまんもすれば、みんな気持ちよくすごせる。

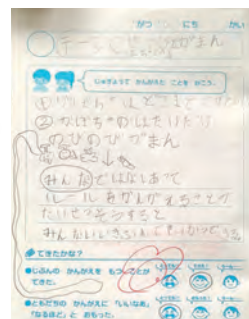
絵とともに自分の考えをまとめている。箇条書きにして整理している。



【B児のノート】

のびのびとがまんには、みんなで話し合っ、ルールを考えていくことも大切。

「規則の尊重」の内容を関連させながら、多面的に考えを深めている。



ここはナイス！
タイムリーな
設定



例えば、導入時に「家での我慢」と「のびのび学校で過ごす」とはどちらがいいか、という比較をさせながら、自然に教材の問いにつなげています。また、オンライン機能をいろいろ使いながら視覚的に分かり易く全員の学習を保障しているところもいいですね。

子どもたちはきっと自然に教材に入り込み、教室で行う授業と遜色なく、もしかしたらより深く話し合いに集中することができたかもしれません。また、iPadのノート機能を駆使することで、より効果的に場面絵を挿入したり、移動させたりすることを効果的に行われているのは、今後のオンライン授業の可能性を示唆する貴重な実践だと思います。デジタルで残せるので、データ保存という観点からも素晴らしいと思いました。

わたしなら
こうする！
発問と
問い返し



本時では「かぼちゃはどこまでつるをのばしていいか」をテーマにされていました。なるほど子どもたちは単なる読み取りにならずに、様々な考えを出し合っていました。それはいいのですが、どうしても方法論になりがちだったようです。大事なのは、「のびのびつるをのばすこと＝×」「我慢すること＝○」というステレオタイプの話し合いにならないようにすることです。

例えば、せっかく子どもたちの中から「自分たちが育てたアサガオもつるをのばして生きていく」という意見が出ているのですから、それを使って「つるをのばすのはいいこと、必要なことだね。では、かぼちゃに足りなかった心は何かな」というように、「のびのびすることと我慢することが対立しない世界」を考えさせていくことができたならよかったように思います。